

いよいよ2016明治安田生命J2リーグ戦も終盤戦の佳境に入ってきました。この原稿を書いている10/17時点で、残り6試合となりました。

ファン・サポーター、スポンサーの皆様には、ずっとFC岐阜へのご支援、応援をしてくださっており、本当に有難く感謝しています。

FC岐阜はアマチュアチームとして2001年に設立され、2008年にJ2リーグに加盟してプロチームとしてスタートして、来年で10周年の節目の年を迎えることとなります。現在ではJ1経験チーム数が22チーム中10チームとなってJ2リーグのレベルも上がってきている中での争いは厳しくなる一方です。

しかし、チームの選手の技術力、チームワーク、体力、精神力も高まってきており、監督・コーチと一体となり、必ずや期待に応えられると確信しています。どうか皆様の熱いご声援を是非

非スタジアムまで届けていただきたいと願っています。

これからが、今シーズンのスローガンである『思いはひとつ、願いも一つ Energy By Communication』を全員で実践する機会であり、チーム一丸だけでなく、すべての関係者一丸でこれを実現して、達成感を共有したいと願っています。

皆様には熱戦を繰り広げている熱い選手たちに、最終戦まで熱いご声援を送っていただきますよう、一層の応援をよろしくお願いいたします。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

9/18愛媛戦、ホームでの勝どき

PICK UP!

今月の選手インタビュー GK1 常澤 聡 選手



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

1.今シーズン、10月16日vs京都戦で初出場。いきなりの先発出場でしたが、試合後に「常に準備をして、いつ出場しても良いように練習をしてきた」と話していました。簡単なことではないと思いますが、どんな思いで準備をしてきたのでしょうか？

もちろん気分が乗っているときは頑張れるし、乗っていない時に頑張ることは大変ですが、それを続けていかないと先はないし、パッとチャンスが来た時にしっかりとプレーできなければいけないので、いつスタメンのチャンスが来ても、自分の中の最低限のプレーはできるように、常に準備をしてきました。

2.そう考えられるようになったきっかけは？

高校を卒業してプロになってから3年間は1試合も出られなかったのですが、その時に土台ができて、筋トレなどで怪我をしにくい身体になったし、その後、他チームに移籍をし、1年目は出られなかったのですが、2年目に出場機会があり、その時はスタメンだった選手が急遽出られなくなってチャンスが来たので、続けていけばチャンスが来るのだなと思いました。その後試合に出られるようになり、自信も持て、これまでやってきたことが間違いじゃなかったなと確認をすることができました。それを継続しつつ、経験を積めたら良いなと思い、ずっ

とブレずに練習に取り組んできました。

3.今年は高木義成選手とポーウィリアム選手と3人のキーパー陣ですが、今シーズン大切にしてきたことは？

まずは試合に出る選手が気持ち良く出られるように、自分が変な態度をとって悪い空気にしないなど練習の雰囲気も大切にしてきました。また、高木選手が、自分が試合に出ていても出ていなくても声をかけてくれ、そういうところを見習いたいと思いました。そういった姿をみて、自分のできることはしっかりとやるうとは、改めて思いました。

4.今チームは残留争いをしていて苦しい時ですが、選手たちはどのような気持ちで練習に取り組んでいますか？常澤選手はどのようなことを心がけてプレーをしていますか？

やるしかないという気持ちと、戦術的には、その一週間の練習で、監督がこうやっていこうという事に向かって取り組んでいます。キーパーは、とにかく打たれたシュートを止められるように、そしてシュートを打たせないように、トレーニングしています。

僕自身は、得点に関わるフィードなどができれば良いですが、まずは、セーフティーにやろうと思っています。中途半端なプレーはしないように心がけています。

5.残り試合への意気込みをお願いします！

どんな状況であれ、プロである以上は全力でプレーをし、残り試合を死に物狂いで戦いたいと思います。ぜひスタジアムへ足を運んでいただき、応援していただければと思います。